

超能力で地震予知？

私の母国日本は、世界でも地震の多い国として知られています。確かに、年に何回も大きな地震のニュースが報道されています。大きな地震ごとに人々の暮らしは様々な被害に遭うため、地震を予知してその被害を最小限に食い止めることは、とても意義のあることだと考えます。

そして、２００３年１１月２６日テレビ朝日系で「スイスペ！ 国民的ＳＯＳ！

巨大地震が東京を襲う！ 世界の超能力者

日本のＸデー警告予知スペシャル」と銘打った特別番組が報道されました。そして、この番組の中に、このフシギの部屋をご覧いただいた方はよくご存じの「彼」の名前が登場したのです。早速チェックさせていただいた結果、とても興味深く見せてもらったのです。

地震の話

最初の１時間ぐらいは、東海地方や関東地方で大きな地震が起こる可能性が非常に高いと言うことを様々な学者に意見を聞きながら説明してくれました。特に東海地震については、プレートの限界から８０年から１５０年の間隔で地震が起きており、そろそろ臨界に近づいていると地震予知連絡会会員・東海大学名誉教授の溝上恵氏が、その他にも琉球大学理学部・物質地球科学科の木村政昭教授や、岡山理科大学総合情報学部・生物地球システム学科の弘原海清教授などが、巨大地震の可能性を警告していました。

予知の話

続いては予知の話です。いわゆる地震雲や動物の異常行動などを観測して行う「宏观現象観測法」や地中の微弱な電流を計測し続け、その変化から予測する「VAN法」、そして、最近予知に成功したとして話題になっている「FM電波（VHF）観測法」や「プラスイオン測定法」などを紹介していました。予知は可能だが、あくまで短期間の予知なのだ、と言う話でした。

その後は、日本各地で異常が確認されている話が続きます。

超能力で予知の話

まず、超能力の有効性を確かめるべく、成功例をあげます。

・ ２００１年１月２６日グジャラート地震を予知したインドのジャイプラカシュ・マドハックという占星術師

・ １９９９年８月２１日和歌山県北部の地震を的中させた

中国のハン（竹かんむりの下にさんずいと番です、表記できませんでした）真池氏

- ・ 1994年ロス・アンジェルスの大地震を予知したアメリカのゴードン・マイケル・スキャリオン氏。
（番組を見ていると、主に「ムー」が情報源のようです）

ここでいよいよ超能力の登場になります。超能力でいつ起きるのか、そしてどんな被害があるのかについて予知してもらうのです。

ここで登場したのが、我らのエド・デームス氏です。彼はハワイに住んでいたのですね、知りませんでした。もちろん彼の肩書きは「全米No1超能力者」です。彼の能力は、当然リモートビューイングで、今回の説明は次のようなものでした。「視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚を五感を司る右脳で感じ取り、瞬間的に脳裏に浮かび上がる映像を具体化していく」のだそうです。

彼の透視は、以下の3点において行われました。

（１）前兆

空高くに黒いリングのようなものが見える。
川や海の水位が上がっているように見える。

この話から、番組が独自解釈をしています。特に黒いリングには二つの解釈をしています。

一つは、複数のカラスが輪を描いて回るのはないか、そして日食ではないか、と言うものです。カラスについては、麻布大学獣医学部・農学博士の太田光明教授に話を聞いていますが、あまりよい返事はいただけませんでした。次に金環日食の話になります。地震と金環日食の間に相関関係がありそうなデータを調べ上げるのですが、川口市立科学館天文学芸員の詫間等氏に「偶然の産物だ」とばっさり切られてしまいます。

ちなみに、そのデータというのは次の通りです。

1998年8月22日東南アジアで金環日食・・・・・・・・・・ 1998年8月20日鳥島近海で地震（M7.1）

2002年6月11日北アメリカで金環日食・・・・・・・・・・ 2002年6月29日ウラジオストク付近（M7.2）

2003年5月31日北極海で金環日食・・・・・・・・・・ 2003年5月26日宮城県沖（M7.0）

（２）被害

最も大きい被害は、東京タワーの南南東地域だ。

古いアパートや住宅街が崩れ、火事の中を多くの人が逃げまどう。

ゴジラの映画を見ているように穴だらけになる。

電車（地下鉄）の中でおぼれたり、場所はわからないが川が氾濫して大勢がおぼれる。水の被害が甚大だ。

これについては、地盤調査事務所技師長・出穂孝之氏が「京浜東北線より東側は液状化の可能性がある、地盤が軟らかく低地である」と危険であることをコメントしています。

水の被害については、立正大学地球環境科学部・文学博士の高村弘毅氏が水道管破裂による水被害について警告しています。

（３）発生時期

なぜかこの透視だけは一日間を置いて行ったエド氏ですが、はっきりとした日時を出します。

アメリカのインディ５００（カーレース）、日本のインターナショナルカイトフェスティバル、そしてチューリップの花が咲いている時期に起こる。

２００６年までのこれらのイベントが起きる時期に地震が来る。

つまり、「２００４～２００６年の５月に地震は起こる」とエド・デームス氏は予知したのです。

もう一人の超能力者

番組はもう一人超能力者に依頼していました。それは、これまたここではおなじみの「超能力大国ポーランド」の超能力者、「タデウシュ・ズビエギョーニ氏（Tadeusz Zbiegieni）」です。お父さんも超能力者というズビエギョーニ氏は、ダウジングでこれらを予知します。元々、地中の透視を得意しており、これまで何千もの水脈を見つけてきたズビエギョーニ氏なら必ず予知できる（ポーランド地質学者・カジミエシュ・ソウティス氏談）「地中透視のスペシャリスト」だそうです。

早速東京の地図をもってきてダウジング開始です。彼は、４つの地震が関東を襲うと予知します。

（１）震源地

第１・・・東京の北、埼玉との県境あたり（荒川の上）M３程度

第２・・・東京の東部、（江戸川の上あたり）

第３・・・東京南部（多摩川の上あたり）

第4・・・本命の大地震。1回目と同じ場所で起こる。

これについて、産業技術総合研究所・活断層研究センターの吉岡敏和氏は、プレート内部による地震が多発していることを述べていました。また、綾瀬川断層（元荒川断層）についても、定説より長く伸びていると主張する東洋大学社会学部活断層研究会の渡辺満久教授を紹介していました。

（２）被害

東京北部エリアで犠牲者４８０名、負傷者１３００名、火災８０件、倒壊家屋２６０棟、マグニチュードは７～８という予知を行っています。

番組では、震源地は地盤が弱く、液状化も考えられ被害は計り知れないのだそうです。

（３）発生時期

２００４年から２００９年の間に予兆の地震が起こるそうです。その後の本命は、２０１３年にやってくるのだ、と予知しています。なお、第１回目は、２００３年１２月に起こるのだそうです。（今書いているのは２００３年１２月６日）

雑感

今回は、珍しく私でも検証可能な超能力者の発言です。エド氏とズビエギョー二氏の予知が全く違うことが気になりますが、とにかく、しっかり月を指定しているのですから、当たりかはずれかがハッキリします。特にズビエギョー二氏は今月中に東京北部に地震があると予知していますので、当たるかどうか楽しみにして待っていることにしましょう。

雑感で一つ。エド氏の前兆で「黒いリング」というのがありましたが、番組で勝手に推測してカラスとか日食とか言っていました。カラスが輪を描く。ちょっと世紀末風で恐ろしいですが、あまりなさそうですね。そこで日食なんですが、「黒いリング」ですか。日食が？

周りが黒くって白い光がリングを作っているの、黒いリングではないような気がするのですが。それに、日食と地震の相関関係も、日食があつて地震というデータを集めればいいのに、地震が起こってから日食、日食が起こってから地震と、ただ日にちが近いだけに見えます。あのデータ「だけ」見てもやはり偶然ですよ。

それともう一つ。ズビエギョー二氏、被害は少なくないですかね？ こんなもんでしょうか？

ついでに。どうしてエド氏は一日日を置いて発生時期を予知したのでしょうか？

まさか、ちょうどいいイベントを調べていた、なんて事はないですよ？

そして、助手のアーロンさんはどこに行ってしまったのでしょうか。地震の予知ぐらいなら、助手は必要

ないんでしょうか？

テキストが長くなってしまいました。おつきあいくださいありがとうございます。これについては、その時が来たら、続きを書こうと思っています。果たして地震は予知の日に起こるのか！

2006年7月17日追記

すっかり忘れていましたが、2006年5月までに地震が起こるとっていたエド・デームス氏は、残念ながら予知をはずしてしまいました。まあ、このような予知は外れてしまったほうがよいのですが、このような不確実なものを信じて日常生活がおくれなくなってしまうては問題です。残念ながら、今のところ超能力は確実な情報源とはなりえないことが言えるようです。もう一人はどうなのでしょう？